

弘前市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
平成31年度(2019)～令和10年度(2028)

弘前市は、津軽の統一を成し遂げた藩祖^{ためのぶ}為信が、この地に築城を計画し、まちの礎を築いて以来約400年に及ぶ歴史の中で、岩木山に代表される豊かな自然資源や弘前城を始めとした歴史的資源など多くの地域資源が蓄積されている。また、これらと一体となって繰り広げられる「弘前ねぶたまつり」、「お山参詣」といった人々の営みが、弘前市固有の歴史的風致を形成している。

01.弘前さくらまつりに見る歴史的風致

弘前さくらまつりは、国指定史跡でもある弘前公園で行われ、重要文化財の天守、門、櫓や2,600本の桜を背景に催される大正期から続く伝統行事である。



弘前城と桜



大正期のさくらまつり

02.弘前ねぶたまつりに見る歴史的風致

弘前ねぶたまつりは、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事で、歴史的建造物が立ち並ぶ市街地を囃子と一体となって練り歩く伝統行事である。



勇壮なねぶた



市街地を練り歩くねぶた

03.宵宮に見る歴史的風致

当市に多く残る寺社の祭礼として行われる宵宮は、夏の風物詩として定着しており、関連して行われる津軽獅子舞などの伝統芸能が受け継がれている。



最勝院・八坂神社の宵宮



津軽獅子舞

04.津軽伝統工芸職人たちに見る歴史的風致

津軽塗や津軽打刃物など藩政期から続く津軽の伝統技術が、城下町の至るところで受け継がれている。



津軽塗作業風景



津軽打刃物製作風景

05.お山参詣に見る歴史的風致

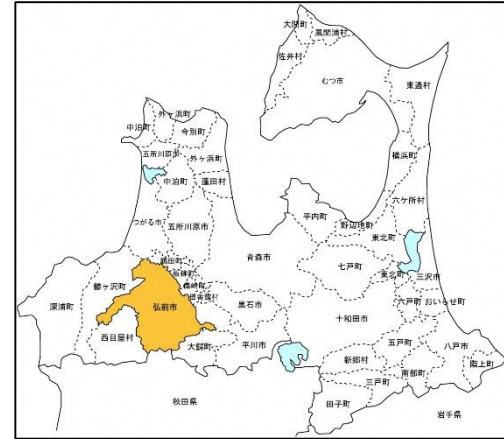
お山参詣は、津軽の人々にとってかけがえないシンボルである岩木山に対する民間信仰行事で、国の無形民俗文化財に指定されている。



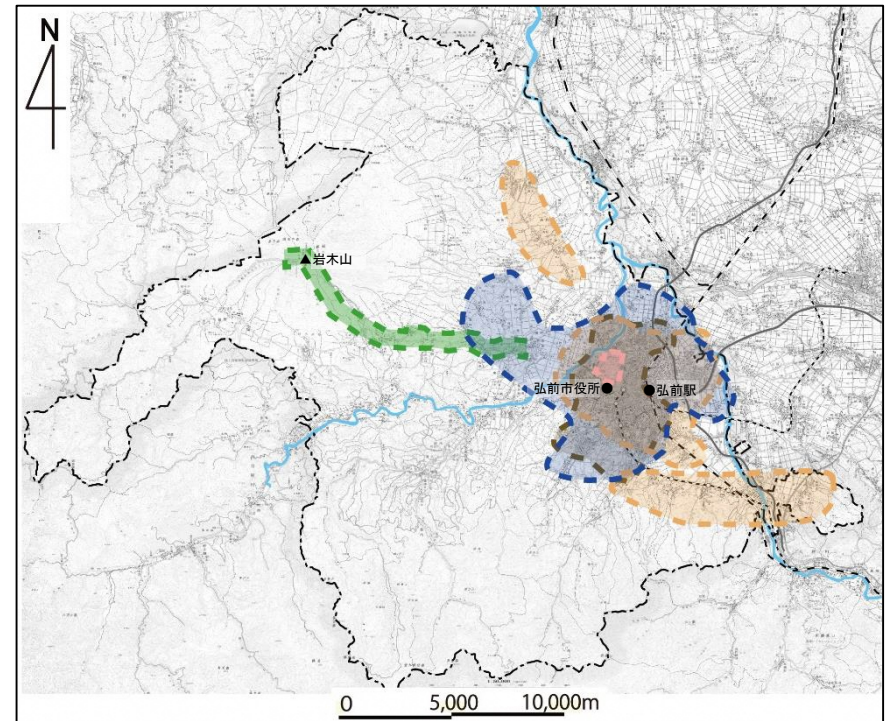
岩木山に向かうお山参詣の行列



ご来光を待つ参拝者



- 01. 弘前さくらまつりに見る歴史的風致
- 02. 弘前ねぶたまつりに見る歴史的風致
- 03. 宵宮に見る歴史的風致
- 04. 津軽伝統工芸職人たちに見る歴史的風致
- 05. お山参詣に見る歴史的風致



弘前市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積

01.弘前城下町地区 約414ha

02.岩木お山参詣地区 約34ha

重点区域では、弘前城本丸石垣の改修、鷹揚公園(弘前公園)の整備、市民中央広場の整備など、歴史的資源の整備や周辺環境の保全を図ることで、弘前市固有の歴史的風致を後世に継承するまちづくりを推進する。また、津軽塗技術や伝統芸能の保存伝承に資する事業を実施し、歴史的風致の維持及び向上を図る。

①弘前城本丸石垣整備事業・②鷹揚公園整備事業

崩落の危険性が高かった弘前城本丸石垣の積み直しや天守の保存修理を行うとともに、老朽化が進む園内施設を整備することにより、良好な歴史的景観の保全や安全性の確保を図る。

修理前の弘前城本丸石垣▶



⑨弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業

仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承しており、地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行うことで建造物や街並みの保全を図る。

仲町伝統的建造物群保存地区の街並み▶



⑫市民中央広場整備事業

市民中央広場は弘前公園に近接する多目的広場で、「弘前ねぶたまつり」の時期には、ねぶた小屋が設置され、広場横からねぶたが出発する場所である。広場向かいには国指定の重要文化財旧第五十九銀行本店本館があり、それらと一体となった景観形成のため、広場の整備を行う。

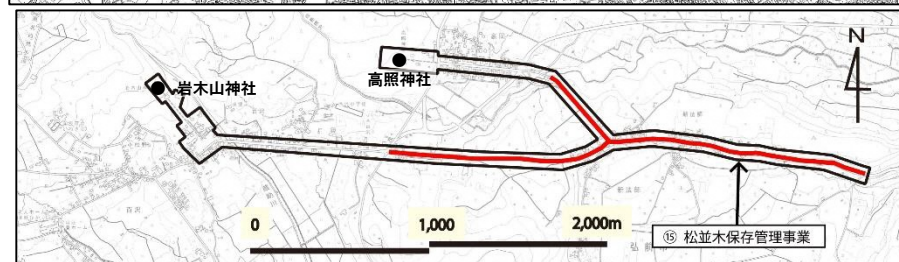
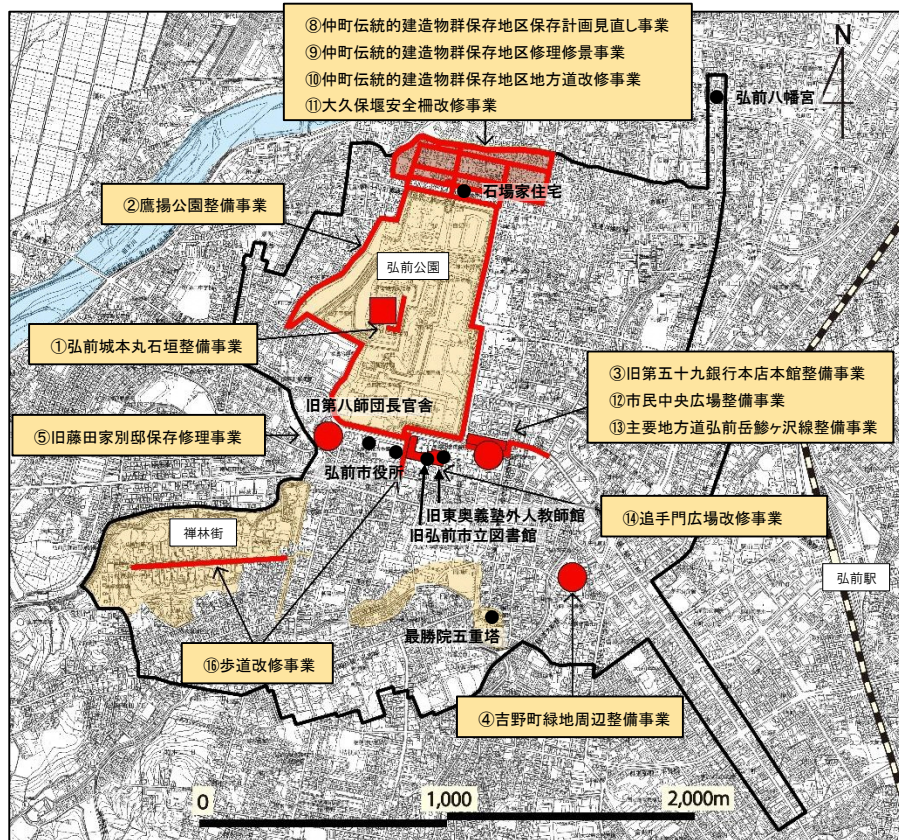
現状の市民中央広場▶



⑮津軽塗技術保存伝承事業

津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術の研鑽及び後継者育成を行う団体に経費の一部を助成することにより、伝統工芸の継承を図る。

木地研修の様子▶



	重点区域
	史跡
	重要伝統的建造物群保存地区

- 重点区域外も対象とした事業
- ⑰津軽塗後継者育成研修事業
- ⑱津軽塗技術保存伝承事業
- ⑲弘前市民文化財用具修理事業
- ⑳レッツウオークお山参詣開催